



福岡県小郡市大板井1143-1

電話番号 0942-72-7221

FAX 0942-72-7222

そら

発行人

こぐま福祉会「そら」編集委員会

<http://www.koguma.ed.jp>

遠足、楽しかったよ♪



☆吉野ヶ里公園☆



☆夜須高原☆



こぐま学園・こぐま・ゆづ

ふれあい遠足

通園のグループ療育の中で、大切にしていることのひとつに、日々の繰り返しの中で、積み重ねがあります。登園して、身支度をして、自由遊びがあつて、そして、お集まり、主活動、給食：と、同じ流れの中で生活すること、子ども達は見通しを持ち、集団の中で過ごす力を身につけていきます。しかし、同じことの繰り返しばかりでは、意欲がそがれてしまったり、あきてしまったりする場合も出てきます。そのエッセンスとして重要な役割を持つのが、行事であると、考えています。

今回の行事は、ふれあい遠足。子ども達は、日々の療育の中で『おべんとうばこの歌』や『バスごっこ』の歌を歌いながら、気持ちを高めてきました。どんなところに行くのかなと、心配になる子ども達には、下見に行ったスタッフが写真を撮って来て、事前に見せるなどの手立てを取ることもあります。

こぐま・しろくまの遠足は、吉野ヶ里公園。子ども達が楽しめる遊具がたくさんあるお勧めの公園です。ゆづの遠足は、毎年恒例の夜須高原。長い滑り台は、子ども達に人気です。

特別感でいっぱいの一日が、子ども達の心の栄養になり、また、日常の支えになります。みんなでやったこと、大きな遊具、お弁当と、子ども達の心に、たくさん思い出が残る一日だったことと思います。

(児童支援部 保育士 西本)



心の窓



みやざき はるな
宮崎 春奈さん

こんにちは。宮崎春奈です。久留米特別支援学校の六年生です。

春奈は平成十五年二月七日、妊娠三十二週の時、緊急帝王切開で誕生しました。実は一卵性の双子でしたが、もう一人の娘がお腹の中で亡くなった為、春奈の心音も弱くなっており、一刻を争う事態でした。産まれてきた春奈は重症仮死状態で、助かる確率はかなり低いと説明があり、最悪の状況でした。私は、亡くなった娘の事と春奈の事が整理できず、何が何だかわからないまま、「春奈は助けて下さい」と祈り続け一夜を過ぎました。その祈りが通じたのか、次の日は状態が落ち着き春奈に会うことが出来ました。亡くなった娘が助けてくれたのかもしれないと思いました。

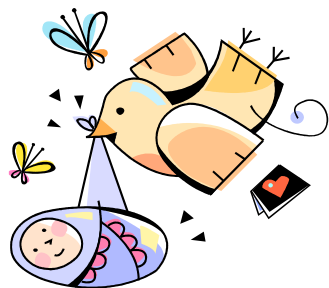
その後の検査の結果、脳性まひと診断され「障害が残ります」と説明を受けた時は、どうやって育てればいいのか不安でいっぱいでした。しかし、私に抱かれておっぱいを飲む様になった時は、春奈の生命力の凄さと母になった喜びを感じさせてくれました。退院後は、主治医の先生からこぐま学園を紹介して頂

き、生後十ヶ月の頃よりお世話になっていきます。こぐま学園に通園したことでたくさんの方々に会うことが出来ました。私のいろんな不安を訓練の先生方やスタッフの方、他のお母さん達が安心という言葉に変えてくれました。そしていつも理解し見守ってくれる家族やみなさんに支えられて今があります。とても感謝しています。

重度の障害が残りに、自分で動いたりおしゃべりしたり出来ませんが、泣いたり笑ったり怒ったり感情を表してくれれます。十一歳になり、少しは女の子らしくなったかなあと思いきや、花より団子で食べる事が大好きです。給食は毎日ほとんど完食です。(笑) 毎日、学校でお友達と楽しく過ごしています。春奈の笑顔を見るだけで幸せになります。これから先もたくさん大変なことがあると思いますが、無理をせず春奈のペースで、家族仲良く生きていけたらと思います。

最後に、こぐま学園の皆様、お母様方、お友達、これからもどうぞよろしくお願いします。

(宮崎春奈の母)



保育士
みやざき おしえ
宮永 佳恵

保育士の宮永です。私は、子どもの頃から本を読むことが大好きです。暇さえあれば読書をするか、本屋をのぞくか、子どもたちに読むための紙芝居や絵本を図書館に物色しに行っています。私が読む本の半分以上は「絵本・児童書」というジャンルです。保育士という職業柄というより、子どもの頃から好きだったものがそのまま今でも続いているという感じです。

昔から、好きな本を何度も何度も読む、好きな作家だけをとことん読むというスタイルは、今でも変わりません。でも最近は、絵本や児童書を読んでみると、自分が子どもだった頃を思い出します。その思い出という作業が、今の自分を見つめなおす機会となっていたり、今では保育士として子どもたちとの遊びを考える上でよいヒントになっています。好きな絵本をいくつか紹介します。「おひさまがいっぱい」 詩・与田 準一 絵・堀内誠一。与田さんは私と同じみやま市出身なんです。「やまなし」文・宮沢賢治 この絵本は、いろいろな方が絵を描

いて出版されているので、自分の好きな絵を探すのもまた楽しみの一つです。「あおい目のこねこ」 エゴン・マチーセン作。主人公のこねこがとってもかわいいんです。是非読んでみてください。

自分の好きな絵や場面に出会った時、なぜ自分はここが好きなのか考えるんです。そうしたら、実家のまわりをきょうだいと走り回ったことや川にもぐって川底から川面を見るのが好きだったなあと、「そうか、私はこんなふうになりたかったんだ」とか、そんなことを思い出したり考えたりする機会を絵本・児童書を読むことで与えてもらっています。

自分の幸せを考えたとき、よく子どもの頃を思い出します。洗濯しているお母さんのそばで、「おかあさんーあーん♪」を歌っている時。祖母の家に行く途中のきらきらした水面の筑後川を眺めている時。その時のなんともしえない満たされた気持ちに、今自分がやっていると保育士として、そこに関わる子どもたちのすごく大事な時期であるんだなあとやりがいを感じます。子どもの心に小さい幸せの引き出しをたくさんつくってあげたいなあと日々頑張っています。



こぐま学園 しろくま グループ紹介

【週2～3回登園グループ】
集団活動の中でいろんなことの経験を
積み重ねています。
たのしいこといっぱい見つけよう！！



《てんとうむし
グループ》
1・2 歳児

大きいボール♪
ポン！！



【乳幼児のお友達のグループ】
親子あそびを中心に楽しく活動しています。



《つぼみグループ》
10ヶ月～

タッチケア
気持ちいい～♪



《ふたばグループ》
1・2 歳児

新聞で
何作ろうかな～♪



【就園児グループ】
就園児を対象に週1回の登園です。
同伴通園で、集団でのお子さんの様子を見させていただきます。



《とんぼグループ》

小麦粉粘土★
何つくろうかなあ



《くわがた A
グループ》
4・5 歳児

お友達と一緒に♪



《くわがた B
グループ》
4・5 歳児

出発しんこ～う！！



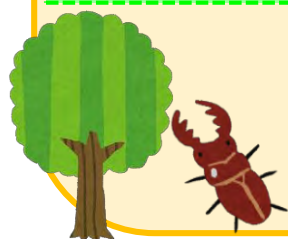
《ぼすグループ》

お友達と
砂遊び★



《とらっくグループ》

感触あそび大好き



地域支援だより「まぐんて」

二〇一四年度 第一号

地域支援部の活動紹介

困ったときは
お気軽にご相談
ください！



【相談担当】

- ① 相談（発達相談・福祉サービスの情報提供・サービス利用の調整）
- ② 計画作成（サービス等利用計画・児童支援利用計画の作成）
- ③ 地域との連携（地域自立支援協議会への参画・地域資源の情報収集・ケース会議の開催など）

地域を
フィールドに
がんばります！



【地域療育担当】

- ① 地域への訪問支援（地域の保育園・幼稚園・学校などへ出向いて支援します）
- ② 出張療育（地域に出向いて療育・訓練を行います）
- ③ 訪問療育（ご自宅へ訪問して療育を行います）

【詳細は、地域支援部スタッフまで】

※今年度より、広報誌「そら」の中にスペースをもらい、地域の情報や福祉・教育の制度等々、「地域で暮らし・育ち・働く」ために必要な福祉の情報をお伝えしていきます！
こんなこと知りたい！など、ご意見・感想をお聞かせ下さい。

（相談支援専門員 入部）

「こぐま療育セミナー」の

ご案内について

七月二十六日（土）・二十七日（日）、平成二十六年年度こぐま療育セミナーを開催します。

本セミナーは、子ども達の理解を深め、よりよい支援を考えることを目的に毎年開催しております。

今年度は『地域で子ども達を支えるために「ライフステージからみた支援の重要性」』をテーマに、医師をはじめとして、各職種からの講義を計画しております。

是非ご参加頂きますようご案内いたします。

《日時》

七月二十六日（土）

十三時～十六時四十五分

七月二十七日（日）

九時半～十六時十五分

《会場》

小郡市総合保健福祉センター

「あすてらす」

《対象》

教諭・保育士・児童指導員・セラピスト・ヘルパー・学生等関係職種全般

《定員》七〇名

《受講料》四〇〇〇円

《申し込み方法》

事前にFAX、メールでのお申し込みが必要で、締め切りは七月十九日（土）です。詳細は案内・ホームページをご覧ください。または担当までお尋ね下さい。

（研修委員会 田中亮）

特別支援学校見学の案内

《対象》

平成二十七年就学予定のお子様を持つ保護者

《申し込み方法》

就学に関するアンケートを各担当者よりお渡ししています。同アンケート内に学校見学の申し込み用紙を添えておりますので、質問事項にお答えの上、お申し込み下さい。

●久留米特別支援学校（現地集合）

六月十二日（木）

九時半～十一時半

●小郡特別支援学校（現地集合）

六月十九日（木）

八時五十分～十一時

●太宰府特別支援学校（こぐま集合）

六月二十六日（木）

十時半～十二時

*太宰府特別支援学校につきましては、学校の駐車スペースが少ない為こぐま福祉会のバスで現地まで送迎致しますので、九時五十分までにこぐま福祉会へお集まり下さい。

※なお、他の特別支援学校につきましては、ご希望がございましたら日程を調整させていただきますのでご相談ください。

※居住地域の校区の特別支援学校見学のみとさせていただきます。

※ご不明な点がありましたら、担当者もしくは相談支援専門員までお尋ね下さい。

（相談支援専門員 中村）

日中一時支援事業の

開所延期について



福祉会では北側駐車場の生活介護事業所「愛らんど」の新築工事を計画し、夏休み前の工事完了を予定して準備を進めておりました。そのため安全性及び活動場所の確保等を考慮し、日中一時支援事業は現在実施しておりません。着工準備を進めておりますが工事の開始が遅れる見込みとなり、夏休み期間中の受け入れもできない状況となりました。利用者様には大変ご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご理解頂きますようよろしくお願い致します。

尚、事業再開の予定日につきましては、改めてお知らせいたします。（障害者支援部管理者 高橋知義）

六月行事予定

九日（月）職員向救急法指導

二十六日（木）避難訓練

二十八日（土）・二十九日（日）愛らんど宿泊体験

職場復帰のお知らせ

出産・育児休暇を終え、五月二十三日より復帰しました。

臨床心理士 中嶋 可奈子

新入職員紹介

総務 清水 善昭

お詫び

5月号発行（新入職員紹介）の中で訂正がございました。

誤・情報処理 四ヶ所考之

正・情報処理 四ヶ所考之